

# TASHIRO NEWS LETTER 91

暑さ厳しき夏、まだまだ残暑が続いておりますが、みなさま、如何がお過ごしでしょうか？ 過去最高の参加人数となった2015年度第39回ピティナピアノコンペティションも8月24日（月）ホテルニューオータニでの表彰式・祝賀会をもちまして幕を閉じました。今回、当教室からは坂本百合彩（小1）、有永音羽（小2）さんがA1級（小2までの部）、梅昌大（小3）北川愛梨（小4）さんがB級（小4までの部）、稲垣光希（小6）さんがC級（小6までの部）に参加しました。コンペのレッスンが始まってから寺田煌（小3）さんが渡部由記子先生からのご紹介と依頼で加わり、松戸の村木裕子先生門下の片山紬（小2）さんもレッスンに通ってきました。また、ちば音楽コンクールには沼田若菜（小1）、大村響（小2）さんがA部門に、沼田遥菜（小5）さんがC5部門に、グレンツェンピアノコンクールには小堀優歩（中1）さんが参加しました。暑い中、奮闘する彼らの姿は胸を打ちました。片山紬さんはうちの門下ではありませんが、共に闘った仲間として、功績を掲載させていただきます。

## 第39回 ピティナピアノ コンペティション 2015

指導者賞

田代稚恵美

全国決勝大会

入 選

有永 音羽（A1級）

全国決勝大会

ベスト賞

片山 紬（A1級）

全国決勝大会

入 選

寺田 煌（B級）

参加する子たちはもちろんお母様方の意識レベルが相当に上がっており、以前は「奇跡」と思っていた全国決勝大会を当然のように見据えています。そこに至るまでの厳しさも承知した上で享受しており、私の責任の重さを痛感しました。今回はピティナの本選前、ちばコンの第2次予選前にあたる7月31日にホールレッスンをしました。こういうレッスンができること自体が私には夢のように思えました。お陰様で、田代も12回目の指導者賞を頂戴しました。

表彰式  
田代 音羽 紬 煌

敬称略



音羽ちゃんの全国  
決勝の応援団



ホールレッスン

全国決勝大会



祝賀会



### 本選

#### 本選1位

有永 音羽 (8/3 東日本千葉1本選 A1級)  
ヤマハミュージックリテイリング賞

#### 本選1位

片山 紬 (8/9 東日本5本選 A1級)

#### 本選2位

寺田 煌 (8/3 東日本埼玉1本選 B級)

#### 本選優秀賞

北川 愛梨 (8/6 東日本埼玉1本選 B級)  
テクノファーム賞

坂本百合彩 (8/6 東日本茨城本選 A1級)

稲垣 光希 (8/6 東日本茨城本選 C級)

北川 愛梨 (8/7 東日本5本選 B級)

#### 本選奨励賞

梅 昌大 (8/7 東日本茨城本選 B級)

坂本百合彩 (8/7 東日本4本選 A1級)

### 予選

#### 予選優秀賞 (全員予選通過)

有永 音羽 (6/20 柏前期 )

梅 昌大 (6/21 日立 )

寺田 煌 (6/21 日立 )

稲垣 光希 (6/21 日立 )

有永 音羽 (7/4 柏後期 )

坂本百合彩 (7/5 つくば )

寺田 煌 (7/5 熊谷 )

梅 昌大 (7/12 さいたま南)

北川 愛梨 (7/12 さいたま中央)

和光賞

坂本百合彩 (7/18 大塚 )

北川 愛梨 (7/23 上野2 )

### 検定

#### 検定優秀賞 (全員検定優秀賞)

寺田 煌 (7/11 船橋3 )

有永 音羽 (7/23 千葉3 )

稲垣 光希 (7/23 千葉3 )

寺田 煌 (7/23 上野2 )

坂本百合彩 (7/28 龍ヶ崎 )

有永 音羽 (7/28 龍ヶ崎 )

梅 昌大 (7/28 龍ヶ崎 )

北川 愛梨 (7/28 龍ヶ崎 )

稲垣 光希 (7/29 龍ヶ崎 )



坂本百合彩ちゃん

坂本百合彩ちゃん（小1）は初めての参加。コンペを受けると言われた時には一番心配しました(笑)のんびりやさんでコンペを受けるといことの意味が理解できるか、レッスンを厳しさを増していくこと、練習での集中力と毎日その量をこなしていけるか。また、些かテンポが走る傾向にあった為、これはコンペでは命取りになってしまうこと。コンペの為のレッスンを始めてからも、なかなか調子が出ないように見受けられました。それで、5月ゴールデンウィークに同じA1級を受ける有永音羽、片山 紬ちゃん（共にA2級で入賞者記念コンサートに出演）と合同レッスンをしました。そこで、大きな衝撃を受けたことで百合彩ちゃんの音楽が変わり始めました。土台を揺るがしていたテンポ感が安定し、持ち前の明るさで伸びやかに歌い始めました。本選でも緊張感の中、にこやかにお辞儀をし、安定した演奏ができたようです。この数カ月大きな成長、変貌ぶり、素晴らしかったです！本選優秀賞、奨励賞、おめでとう！

有永音羽ちゃん（小2）は3回目の参加。コンペに参加を始めた2年前は練習量が少なく、集中力も持続しなかったのですが、年々コンペを通して身に付けていくことの多さには驚かされるばかりです。本選の前に「中だるみ」を感じて、叱り飛ばしましたが（笑）1回目の本選で堂々の1位。音ちゃんが先陣を切った本選でしたから、みなが湧き立ちました。本選から全国までのお盆休み返上のレッスンの中、どうも、音ちゃんの響きが思うように出てこないのを感じ、教室の防音室のグランドピアノでの練習を提案しました。暑い中、朝から防音室で練習、レッスンを受けて復習練習、そしてまたレッスン。。毎日毎日、私にお弁当を持ってきてくれ、母娘で防音室に閉じこもって練習を積み重ねる姿には胸を打たれました。本来音羽ちゃんが持っている豊かな音が更に鳴り始めました。



有永 音羽ちゃん

全国決勝大会、1グループ。教室からの沢山の応援団が見守る中、落ち着いて丁寧に1曲1曲に心を乗せてホールに響かせる音羽ちゃん。私も心の中で「ガンバレ！」「ガンバレ！」と念じるように思っていました。本当にいい演奏ができました！おめでとう！！



寺田 煌ちゃん

寺田煌ちゃん（小3）は4月半ばに全国決勝大会審査員 渡部由記子先生からお電話を頂き、渡部先生とご一緒に指導することになりました。しかし、煌ちゃんはスイミングの選手コースに通っています。コンペの間もこれを休むつもりはなく、練習時間の確保がなかなか難しい中での挑戦となりました。煌ちゃんの参画で教室の参加者たちが刺激をもらったことは確かです。5月ゴールデンウィーク中の合同レッスン、梅昌大くん、北川愛梨ちゃんと共にお互いの演奏を聴きながら意見交換をしました。合同レッスンは、聴く耳を養うことは確かですし、自分のソルフェージュ的能力も露呈します。例えば、音色の変化を求められた時に、なぜ音色が変化しなければならぬのが理解できなければ、その説得力に欠ける演奏になってしまいます。なにしろ練習時間が足りない中、本選2位！これには、本人も私もびっくり（笑）。無欲とその本番1回のステージにかける気迫の勝利でしょうか。。スイミングで培った勝負魂というものでしょうか。全国決勝大会でも演奏直前に、「寺田さんですね！」と声を掛けられたそうです。「あなたの参加した本選で審査員をした〇〇です。素晴らしい演奏でしたね！」名前が出ないコンクールで人の心に残る演奏をし、顔まで覚えて頂くことは滅多にあるものではありません。全国決勝でも気合の入ったいい演奏ができました。おめでとう！！

梅 昌大くん（小3）は3回目の参加。B級です。昌大くんは今回、選曲からとてもチャレンジングでした。体格にも恵まれ豊かな音の出るまあくんですが、指の小回りがあまりきまません。今回は4曲とも指回りの速い曲を選びました。これが大変でした。どの曲もまあくんにとっては至難の技。たくさんリズム練習をこなしていましたが、なかなか粒が揃わず、今回は予選を落としてしまうのではないかと肝を冷やした時期もありました。しかし、彼の根性と粘りで、指が動くようになりました。今度はその音の軽やかさと粒立ちが要求されました。まあくんは今まで注意されると機嫌を損ねてしまうことがあったので、本音で指摘できない部分も確かにありました。しかし、今回のまあくんは違いました。私の言葉に耳を傾け、必死に音作りをするまあくんの姿は胸を打ちました。本選奨励賞おめでとう！きっと、まあくんの中ではおめでたい賞ではないのかもしれませんが、大人っぽく成長した姿は眩しかったです。



梅 昌大くん



北川 愛梨ちゃん

北川愛梨ちゃん（小4）は初参加。昨年秋に、教室を変わってうちに編入してきました。ただ、真剣に注意をするとすぐに泣き出して頭が働かなくなってしまうので、覚悟が決まらないのならコンペを受けるのはやめるように伝えていました。腹を括ったようでコンペ組に入り、一生懸命に練習して、腕を上げていきました。しかし、誰が聴いても「愛梨ちゃんはきちんと（！）弾けて上手。」。。。きちんと整った演奏、安定感もありいいのですが、これだけでは人の心に感動を呼び起こしません。その上のプラスαを追求して、各場面のイメージをはっきりと持ち、それを音にしていくことを積み重ねました。本選優秀賞、限りなく全国決勝に近い副賞付きの次点でした。すごく惜しい気もしましたが、初挑戦でここまで来られたことは次の大きな力になると思いました。おめでとう！

稲垣光希くん（小6）は4回目の参加。今年の発表会の演奏を聴いて彼の大きな飛躍を確信し、このコンペに私も賭けていました。予選第1回目、素晴らしい演奏。「これで落ちたら私は頭を剃るわ。」と私。しかし、初めての予選落ち。審査員の視点でこれだけ評価が変わること、また、私の詰めが甘かったのではないかと私も猛省しました。緊張感が人より強い光希くんがあと1回の予選を生かせるのか。。次の週には、本選曲に切り替えて検定を受けることになっていました。しかし、この検定はきっと取りやめだろう。。。私の思いとは裏腹に、光希くんもママも予定通りに本選曲に切り替えて準備を始めました。粛々と決められたことをこなしていく彼の姿に感動しました。そして2回目の予選。見事通過！本選までの暑い夏の日々、一途に練習を積み重ね、毎日、それも1日に何度もレッスンに通ってくる光希くんとママの姿勢、胸が熱くなる日々でした。1回だけの本選。今までの光希くんなら、その機会を生かせず、潰れていたかもしれません。しかし、堂々の演奏。0.02ポイント足らず、全国決勝を逃し、本当に残念でしたが、あの上がり症だった光希くんが本番の緊張感の中で自分を見失うことなく力を発揮できるようになったこと、これがこの4年の大きな大きな収穫だと思えました！おめでとう！光希くんとママ！厳しいけど楽しいコンペでしたね！



稲垣 光希くん

## グレンツェンピアノコンクール

### 金賞

小堀優歩 中学生B部門

第25回グレンツェンピアノコンクールに初参加した小堀優歩くんが金賞を受賞しました。



小堀優歩くん



中学校に入れば、勉強、部活など忙しくなり、時間の使い方を問われます。この時期は「親」を超えて自分を確立しようと不安定になることもありま

す。私も人の親。この時期の子供の不安定さを焦らず大らかな目で支えていくことの難しさを痛感しております。中学という新しい環境に慣れる間もない中でのコンクール挑戦。どうなることかと心配もしましたが、彼自身が持っている主張のある音楽性、これは大事に育てたいと思っておりました。まさか、金賞を頂いてくるとは思いませんでしたし、ご家族が「優秀賞」とメールをくださいましたので、このトロフィーを見て2度びっくり！！本当におめでとう！！

## ちば音楽コンクール

### 第2次予選 (全員通過)

沼田 若菜	8/6	A部門
大村 響	8/6	A部門
沼田 遥菜	8/6	C5部門

### 第1次予選 (全員通過)

大村 響	7/22	A部門
沼田 若菜	7/23	A部門
沼田 遥菜	7/23	C5部門



沼田若菜、大村響、沼田遥菜ちゃん

ちば音楽コンクールは現在進行中です。9月23日（祝；水）に京葉銀行文化プラザにて本選が開催されます。コンクールというものに初挑戦でそこに至るまでに何をすればいいのかわく理解ができていないように思えた沼田若菜、大村響ちゃんも少しずつ目覚め（苦笑）、指周りの早い課題曲に「こんなの無理」と言って叱り飛ばされた沼田遥菜ちゃんも本選に向かって磨きをかけています。お時間のとれる方は応援に行ってください！みんな、力の限り、本気でがんばれ！！



ステップ合格 おめでとう！！

流山ステップ 6/28

長谷川朋洋 (導入3)	松永 啓佑 (基礎1)	増田 結 (基礎1)	鳥居 遼人 (基礎1)
金丸 一華 (基礎2)	渡辺帆乃花 (基礎4)	石井 夏月 (基礎4)	北川 真衣 (基礎5)
有賀 文音 (応用1)	松永 偲歩 (応用1)	齋木 桜子 (応用1)	鷺谷 莉子 (応用1)
上田 結鈴 (応用2)	中村 美結 (応用2)	神保和花乃 (応用2)	影山 裕奈 (応用2)
秋葉 れい (応用2)	秋葉 里緒 (応用2)	大西 和歌 (応用2)	北川 莉子 (応用3)
新田 彩桜 (応用4)	小堀 優歩 (応用4)	稲垣 朱音 (応用4)	寺田絵梨花 (発展5)
坂本百合彩 (フリー3)	沼田 若菜 (フリー5)	有永 音羽 (フリー5)	梅 昌大 (フリー5)
大村 響 (フリー7)	北川 愛梨 (フリー7)	大村 栞 (フリー7)	石井 美有 (フリー10)
沼田 遥菜 (フリー10)	稲垣 光希 (フリー10)	上田 萌莉 (フリー10)	梅 眞一郎 (フリー10)



継続表彰

おめでとう！

敬称略

継続5回表彰

有賀 文音  
北川 愛梨

継続10回表彰

有永 音羽  
鷺谷 莉子

継続15回表彰

梅 昌大

継続35回表彰

稲垣 光希



泉ゆりの先生のトークコンサートではゆりの先生の歌うような繊細な語りかけから豹変する大迫力に会場が興奮しました。

年々、トークコンサートだけに駆け付けて下さる一般のお客様も増え、有難いことと感じ入っております。

6月28日(日)に流山地区ステップが開催されました。教室からは初参加の松永啓佑、長谷川朋洋、鳥居遼人、沼田若菜、増田結さんを加えて36名が参加しました。参加者の演奏のレベルが高いことはもちろんですが、会場全体に活気があり、楽しいステップとなりました。アンケートにご記入頂いたお母様方、またステップコミュニケーションで他の演奏者にお手紙を書いた参加者たち、有難うございました！

また、ステップ前日に準備のお手伝いに駆けつけて下さった上田さん、石井さん、稲垣さん、小堀さん北川さん、有難うございました！お写真に入っていない方、ごメシナサイ！



ステップ前日の準備応援団

赤松林太郎先生、ピアノコンツェルト

7月25日(土)に池袋芸術劇場においてミレニウム第13回定期公演が開催されました。前半は赤松林太郎先生とアウローラ管弦楽団によるショスタコーヴィチピアノコンツェルト第2番、後半は4人

のソリストと混声合唱団コールによるモーツェルトのレクイエムでした。教室からは、有永音羽、沼田若菜、沼田遥菜、梅昌大、梅眞一郎、北川愛梨石井美有、上田萌莉さんがママたちと参加しました。赤松林太郎先生の全身でのパフォーマンスに感動、レクイエムも普段聴く機会がないので興味深く最後まで楽しみました。子供たちも真剣な目をして聴き入り、沢山のこを感じ、吸収できたようでした。赤松先生がご挨拶に出いらした時に記念撮影できなかった方々、ごメシナサイ！

昭和音大ピアノアカデミーイタリア研修



石井美有さんが7月に7泊9日で上記研修でイタリアに行ってきました。ほとんどの参加者が大学生の中、仲間に入れて頂きました。現地のピアニストのレッスンを受け、何度もコンサートに出演。視野を大きく広げる素晴らしい経験になったようです。

編集後記

今年も本選前に稲垣一家が本選に参加するみんなに手作りのお守りを持ってきてくれました。お母様方の中には感動して目に光るものが見える方が。光希くんが1回目の予選で落ちた時や2回目の予選に向かう時には、みんなからの応援メール。「この温かさに救われました。」と稲垣ママ。有永音羽ちゃんは今回、光希くんにお守りをもらったら、その場で「昨年もらったお守りも、その前にももらったお守りも持っているよ。」とカバンから出しました。コンペを通してのこの心の交流こそが宝物だと感じました。

